

内分泌・糖尿病内科 後期研修プログラム

現在糖尿病患者は増加の一途を辿っており、厚生労働省による糖尿病実態調査では糖尿病及び糖尿病の可能性が否定出来ない人は 2007 年の時点で 2,210 万人まで達している状況です。今後は現在以上に糖尿病に対する専門的な加療を要求される時代になると予想される事もあり、2011 年 4 月より第二内科から独立して「内分泌・糖尿病内科」としての活動を開始しております。

【プログラム】

日本糖尿病学会認定教育施設であり、更に消化器病学会・消化器内視鏡学会・肝臓学会・循環器学会・腎臓学会・呼吸器内視鏡学会など多数の内科系研修施設でもある事から、内科認定医・糖尿病内科専門医の取得を考慮したプログラムを作成・実行します。

当科は福岡県でも数少ない、糖尿病専門医が 3 名常勤している病院であり、糖尿病専門医としての知識・診療手技の取得、診療方針の決定を自身で行える

ように、専門医が協力して指導します。また、24時間グルコース測定や持続インスリン皮下注入療法（CSII）といった特殊な検査・加療も可能です。

更に福岡大学筑紫病院は、地域医療支援病院であると共に、大学病院として臨床研究も積極的に行っており、症例報告・臨床研究を介しての博士号取得も可能です。

内分泌に関してはまだ認定施設ではないものの、本学(福岡大学)や他の研修病院との連携の上で専門医取得は可能です。内分泌疾患は甲状腺を中心に診療していますが、下垂体・副腎疾患に関しても脳神経外科、泌尿器科と協力しながら診療しています。